

もの想い

macoto



もの 想 い

macoto



はじめに……

いま、こうしてページをめくって目を通してくれてありがとう。

この「もの思い」はWWWサイトのホームページ  
“明日は明日の風が吹く～Tomorrow is another day～”より  
2000年3月3日から2001年12月31日までの  
macotoの呟きのような言葉をまとめたものです。  
こうしてひとつの形として残せたことを  
周りにいる人たちに感謝するとともに、  
あなたの心になにかひとつでも伝わることを願って……

2002年3月3日  
ホームページ開設2周年記念  
一人一人に感謝の気持ちを込めて……  
macoto



## もの 想 い





## 「ありがとう」と言えるひと・・・

ありがとうと言えるひと・・・  
ありがとうと言えるようにしてくれるひとは素敵

「ありがとう」って言葉  
面と向かって素直に言える人ってなかなか居ないと思う・・・  
だから「ありがとう」と言えるようにしてくれるひとに言いたい

「ありがとうって言わせてくれてありがとう」

## 明日は明日の風が吹く

今は朝だ・・・  
昨日からみたら 今は明日  
今からみたら 明日は明日

「明日」と書いてみる・・・日・月・日  
お日様が出て、お月様が顔を出し、  
そしてまたお日様が出ると明日になっている。  
でもそれは今日の事でもある。

明日は明日の風が吹く ~Tomorrow is another day~  
それは今  
心のなかに吹く想いのことかもしれない・・・



## 君と僕とは違う人

見た目が違う  
趣味が違う  
好みが違う  
性格が違う  
考え方はちょっと似てる・・・

年齢が違う  
性別が違う  
雰囲気が違う  
育ってきた環境が違う  
でも知りたいと思う気持ちは似てる・・・

ひとりひとり違うよ  
全く同じ人なんて居ないよ  
全く同じ考えなんてないよ  
それは似てるだけ・・・  
合わせているだけ・・・

だけど・・・  
違うから興味が湧くんだ  
違うから知りたいんだ  
違うから解り合いたいと思うんだ  
そんな君だから近づきたいんだ  
お互いが解り合おうとしたらいいのにな

そのままの  
ありのままの姿を見れたらいいのにな



## あなたのおかげ・・・

あなたのおかげで気付きました  
あなたのおかげで傷つきました  
あなたのおかげで苦しみました  
あなたのおかげで悩みました

あなたのおかげで救われました  
あなたのおかげで報われました  
あなたのおかげで楽しめました  
あなたのおかげで癒されました

すべてはまわりにあなたが居てくれるから  
わたしは微笑むことが出来るのでしょう

ありがとう

あなたのおかげです・・・

## 立ち止まる

いろいろな情報がたくさん増え過ぎて  
迷う・惑う・戸惑う・さ迷う・困惑

こんなときには一度立ち止まるのもいいかな？

僕はここにいる  
そう現実の世界に・・・

たいせつなものってなんだろう・・・



## 鎖を断ち切ったような雲

いつものバッグを置いて出掛けた  
携帯電話も置いてった  
腕時計も外して置いてった  
そして、一人で出掛けた

自分を繋ぐすべての鎖のようなものを  
置いて歩き始めた

ああ、なんて開放感・・・  
手ぶらだからじゃない  
気持ちが軽くなった気分だ

虫食いだらけの葉っぱも  
木漏れ日から差し込む日射しも  
水面を滑るボートも  
甲羅を浮かべて首を伸ばす亀も  
一本一本織りなすような鳥の巣作りも  
すべてが優しく美しい

のんびりと過ごすのもいいよねって思えた。  
鎖を断ち切ったあとのような雲を見た  
たまには手ぶらで街を歩く  
それだけで違う世界が・・・  
失いかけてる世界が取り戻せるんだ

そんな気がしないか？





## 自然体

自然体でいること

自然・・・

風が吹く

雲が流れる

陽は注ぐ

雨が降る

木々は茂る

きっと自然体でいることは

自然を感じて生きること

触れる

笑う

喜ぶ

泣く

怒る

それをそのまま表現する

それを隠して行かなければならないのならば

たまには自然に抱かれてみよう

いつも自然を感じていたい

いつも自然体でいられる自分でありたい

・・・自然体でいること



## 涙

涙を流す

涙には訳がある・・・

しかし訳もなく涙が流れることもある。

そして流れてなくても必ず瞳は涙で潤されている。

心が傷付くとその傷口からどんどん思いが溢れてくる。

どんどん溢れて放っておくと心が乾いてしまう・・・

だから涙は心が乾くのを防ぐために流れる。

そんな風に考えたら涙も大切だと思えるような気がします。

## 月と太陽

今日は月がきれいだよ

ほらちょっと外みてごらんよ

星はたくさんあるけれど

月と太陽は一つしかないんだ

でも太陽は眩しくて見てられないから

月を眺めよう

だってどこに居たって同じ月を見られるから

君が見てる月を同じときに僕も見てる

それだけで嬉しくならないか

だって月は僕ら二人を見てるんだよ

月からみたら僕らは隣りに居るようなもんさ



## 流れる

川は流れる・・・

雲は流れる・・・

時間は流れる・・・

時代が流れるのは、世の常・・・

人は生まれてからずっと時代に流され続けて生きる。

一時代を創る人もいるが、いずれ流される。

川はたった一滴の水から・・・

雲は海と空の彼方から・・・

時間は宇宙の彼方から・・・

時間の流れってのは、一人一人違うけれど、

この世に生まれ落ちてからは、ある一点に向かって行く。

人は一日一日、死へと向かって流れて行く。

子供の頃は一日がとても長く、周りの物がとても大きく見えた。

ある程度、年齢を重ねると一日は短く、周りは小さく感じる。

まるで自分自身がちっぽけな存在であることを否定するかの如く。

川は流れる・・・

雲は流れる・・・

時間は流れる・・・

なにはともあれ僕らは流れる・・・

未だ見たことのない未来へと・・・



## 忘れる

人は忘れる生き物・・・

例えば、すごく辛くて苦しい事があったとき  
自然と嫌な事（ストレス）に体が反応して忘れる。

例えば、すごく楽しい事があったとき  
あっと言う間に過ぎ去るものかも知れない。  
結構思い出として残るものだと思う。

でも長い年月が経てば忘れてしまうかも・・・

心が痛くて、とても悲しい事があった時・・・  
その痛みや悲しみを時間が忘れさせてくれる。

## 波打ち際

寄せては返す波のように感情の波は揺れている。

その感情の波は何処からやってくるのだろう・・・

きっと波は内側からの小さな震えが徐々に伝わって、

次第に大きくなってゆく。地球も心のなかも・・・

きっと僕らは海辺の波打ち際にいるようなもの・・・

いつの日かその感情の波がひくこともある。

そして、その心が満たされるときも来る・・・





## 自分本位

結局のところ、人は自分本位なんだと思う。

どんなに相手を思っていようと、自分の思い通りにならないと  
愛情が憎しみや嫉妬に変わるのはその典型だろう。

人によっては怒り・悲しみ・苦しみなど  
様々な表情を見せることもあるだろう・・・  
だけど、結局は自分の思う通りになるように行動・思考する。

意識的にせよ、無意識にせよ。

そうゆうときにこそ、自分の行動・思考を冷静にみつめる必要がある。

自分本位だと認識しておくことは、  
自分を戒めることにも繋がるのではないか・・・  
我侭ってのは生物の本能なのかも知れないな・・・

## 返還

自分のしたことはそのうち返ってくると思う。

したことがその対象からでなくても  
めぐりめぐって返ってくるだろう。  
それに気付くか気付かないかの違い。  
良いことも悪いこともぐるぐる回ってるんだろう・・・



## 感謝 ～周りにいるあなたへ～

ここに来てくれてありがとう。感謝！

いつも応援してくれてありがとう。感謝！

大切な何かを気付かせてくれてありがとう。感謝！

くだらない批判をしてくれてありがとう。感謝！

さりげなく誉めてくれてありがとう。感謝！

無用な労力を使ってくれてありがとう。感謝！

大切な時間を分けてくれてありがとう。感謝！

離れていってくれてありがとう。感謝！

近づいて来てくれてありがとう。感謝！

何も知らずにあなたは強いと言ってくれてありがとう。感謝！

私を理解しようと話を聞いてくれてありがとう。感謝！

そっと頷いてくれるだけでもありがとう。感謝！

何も言わずに見守っててくれてありがとう。感謝！

この世の中に生んで、育ててくれてありがとう。感謝！

この世の中で生かしてくれてありがとう。感謝！

この世の中で生きる力をくれてありがとう。感謝！

感謝できる気持ちを与えてくれてありがとう。感謝！

「これ、誰かの歌みたいだな？」と思った人にもありがとう(笑)

何が起こっても感謝できればいいと思う。

今の自分が成り立つのに何一つとして無駄な事はないのだから・・・



## 似たようなもの

あなたもわたしも彼も彼女も似たようなもの

自分の事を解ってるつもりでいるけれど

相手の事を言ってるつもりでいるけれど

結局の所、自分に言ってるんだろな。

他人の事はよく見られるけれど、自分の事はあまり見えない。

・・・と言う事は

他人の事をよく見ていれば自分が見えてくるって事？

## 音楽

音楽は人生と似てる・・・ふとそう思った。

メロディがあってリズムがあってハーモニーがある

人によって音色も特徴も違う

いつの時代も誰の心にも音楽はある

人生にも音楽にも正解なんてないけれど

人生も音楽も楽しむ心が大切なんだと思う。

君とのハーモニーを奏でたいよ・・・



## 二度と出来ない経験

すべてが初体験のことばかり・・・  
あなたとの初めてのkissも  
もちろんはじめて経験するkiss・・・  
あなたと2回目のkissも  
はじめて2回目にするkissの体験・・・  
100万回目のkissでもすべては初めての事、  
似てはいても決して同じではない。  
あなたと私が違う人間であるように・・・

生きし者は皆、  
似たような事を考え行動する。  
人は生まれ、そして必ずいつかは死ぬ。  
それだけは生きしものすべてが経験する。

だけど、どこで・どの時代に生まれ・  
どう生きて・どう死ぬかは全く同じ  
人生などはない。  
それだけは、自分だけしか出来ない経験です。

## 出逢いと別れ

この世には出逢いと別れしかない  
日々、出逢い  
日々、別れ・・・

「さよなら」って言葉は  
出逢いにさよならなのか  
別れにさよならなのか

物事には静と動、表と裏、右と左のように  
反対の言葉があるけど、  
「さよなら」の反対の言葉ってなんだ？  
おはよう？こんにちは？こんばんは？  
・・・「さよなら」は「さよなら」だ・・・





## 花

花が咲く  
誇らしげに咲いている  
でもどこか儚くも見えるその花  
散ると解っていてもなぜ花は咲くの？

花は咲く  
それは僕の心にも  
君の心にも  
おなじ花を咲かそう

## きっと

僕の心には君がいる・・・  
きっと君の心にも僕がいる・・・  
きっと君を思ってくれる人がいる・・・  
きっと君の心でならあの方は生きている・・・  
  
きっと・・・ きっと・・・



## 声

聞こえてくる声 と 聞こえない声  
耳を澄ましてごらん  
心の声を  
きっと聞こえてくるはずだよ  
誰かの声が・・・

## 褒め上手

上手に褒める人がいる  
やる気を出させてくれる  
自信を持たせてくれる  
笑顔を出させてくれる

お世辞のように白々しくなく  
決して押しつけがましくなく  
さりげなく・・・さりげなく・・・

上手に褒められるっていいなあ



## 行き止まり

何処かに向かうとき、何かに行き詰まり、進めないと思うなら  
そのときは振り返って戻ってもいい。  
それは向きが変わっただけで、進んではいるんだと思うよ。  
その壁を乗り越えるも、迂回するもそれは自由だ。  
戻れないのは時間だけ・・・のような気がする。

## 信じ合う

信じ合うにはどうしたらいい？  
それはやめないことだよ・・・  
自分が相手を信じることをやめないこと。

僕は君を信じることをやめたくない。  
僕が君を信じ続けなければ 『信じ合う』 ことはないからね

## リラックス

肩に力が入っていると本当の力が発揮できないよ  
そう力を抜いてリラックスしてやっごらんよ  
きっと心地の良いものになるはずだよ



## 優しさ

優しさってなんだろう・・・

「優しさ」と「弱さ」を履き違えている人がいる。  
弱さと不純物が蔓延している。

人間は元々弱い生き物だけど、  
高い理想と強い意志で地球を支配しているように見える。

意思の弱い人が目立つ昨今、  
「弱さ」を「優しさ」に擦り替える人がいる。

本当の優しさってなんだろう・・・

愛情を持って、相手のために思いやる無償の奉仕・・・  
そうゆうことかなあ・・・よく解らないや・・・

だけど、何もかもを言われるがままにしてあげるとは違う気がする。

思いやることのなかには、叱ること・注意すること・論ずること  
などの行為が含まれているような気がしてならない。

弱さのなかに見出せるものが強さかも知れないが、  
弱い人が強さを見出してこそ、優しさが生まれるのかも知れない。

そんな風に今は思っている・・・

## 感覚

人間の生まれ持った感覚を信じる。

視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚・そして勘

自分の感覚を信じて行くこと





## 途中

元旦は一年の始まり・・・  
でもその年の元旦に生まれた人以外は人生の途中。

人生には始まりは1度きり、終わりも1度きり。

人との出会いは違う・・・  
出会いと別れのほかに再会もある。  
縁があれば、またいつか逢えるだろう・・・

人生はいつも道の途中・・・  
どんな時代になっても道の途中である今を大切に生きたい。

## プロ意識

プロってのはお金を貰う人のことじゃなく  
そのことに対してとことん突き詰めた  
意識を持っていることを指していると思った。

プロ意識を持っているから能力も上がり  
その意識があるからこそプロフェッショナルなのだと思う。



## プライド

プライドって人に見せるためのものじゃなくって  
自分のなかにあるものだと思う。  
人にどう言われようといいんだよ。  
自分に愛想つかされなければ・・・  
自分のことを嫌いになっちゃったら哀しいよ。

## 忙しい

「忙しい」は「心」が「亡い」と書く。

心が亡くなると人はどうなるんだろう？  
苦しみや悩みが無くなって楽になるだろうか？  
喜びも悲しみも感じなくなるってどんなだろう？  
心が亡くなるとそこにあるのは「人形」だ。  
忙しいからこそ 心配りが必要なんだろうと思う。



## 心の年齢

人は生まれてから何年生きたのかなんて  
たいして問題じゃない。

実際に今の自分の年齢がどうか、何を残せるだろうだとか  
それはあんまり意識するもんじゃないと思う。

人それぞれに何年生きられるかは違うし  
それぞれに幸せの尺度も違う。

たとえ7年しか生きられなくても、70年生きられても  
その生きていた時間のなかで

自分がどれだけ生きてる実感を味わえるか・・・

その生きた実感を味わったということがあればいいんじゃないだろうか？

実際の年齢よりも心の年齢を大切にしたいよ。

## 限りないもの

資源には限りがあり、欲求は限りない  
目標は届くところに置き、夢は果てがない  
現実は見えて、可能性は見えない

無限・・・限りのないものは思想・空想のなかにある。



## クセ

人と比べる癖がある。  
人は人、自分は自分と頭では解っていても  
人と比べて、自己嫌悪に陥る。  
人に褒められても、けなされても  
自信を持って、胸を張って、自分で居られるように  
確かな経験を積み重ねていこう。

たった一人の自分で居られるように・・・

## 人

人は1人では不安定だよ・・・  
1人では強くなれないんだよ・・・  
1人ではなにもできないんだよ・・・  
元々、人は弱いんだと思うんだ・・・  
だから誰かと寄り添って居たいんだよ・・・きっと  
「人」は支えがなくなって「1」になったとき  
立って居られなくなるんだよ・・・  
君は独りじゃないんだよ・・・





## 心配

心配しないでねって君の優しさだって解ってるよ・・・

でも心配しちゃうんだもん しょうがない。

心配って心を配るって書くでしょ？

僕は誰にでも心を配ることはしないんだ。

大切な君だから僕の心をあげるんだよ。

それだけは解っていて欲しいなあ・・・

いま君はどうしているんだろう・・・

心配だよ

## 電波

僕らには電波の届かない場所があるのだろうか？

身近な所でも携帯電話やテレビ・家電でも電磁波を出している。

大きく見ると人工衛星に囲まれた地球上では

電波の届かない場所はないのだろう・・・

その電波にがんじがらめになることなく

うまくその波に乗れるように風を待って帆を張ろう。



## クダサイ

ガンバッテクダサイ  
ゲンキダシテクダサイ  
シアワセニナッテクダサイ

チョットマッテクダサイ・・・  
アナタハカミヲシンジマスカ？脱線(笑)

「クダサイ」がつくとなんか寂しい・・・  
だってそこに君が居ない気がするから・・・  
「クダサイ」は一方通行の標識のようだ  
「クダサイ」はあなたの願い・・・

僕はどうしたいんだろう？

がんばりましょう  
元気出しましょう  
幸せになりましょう

あなたと一緒に居る気がする



## 愛

愛する  
愛される  
愛してる  
愛してた  
愛された  
愛し合う  
愛し合った

あなたには愛がありますか？  
今のあなたはどれですか？  
あなたはどれを望みますか？

これだけは望んでも手に入らないと思うけどね・・・

## かけがえのないもの

なにかの代わりじゃないもの  
だれかの代わりじゃないひと  
なにものにも代えられないものがある  
かけがえのないもの  
かけがえのないひと



## 「1」

### 1 (いち) 数字の一

1番・1等・1位・1着・No.1・日本一・世界一

1とは唯一無二なもの・・・

それが良しとされる場合が多い

#### 数字の1

それは数字の最小単位で割り切れない数

とても孤独な世界・・・

一人になって気付く恐ろしいほどの孤独

一人になって膨らむ割り切れない気持ち

一人にならないと解らない切なさ

一人になるからこそ解る相手の大切さ

世界で一番で在り続けるのが困難なのは

その孤独ゆえなのか・・・

ただひとつ言えることは

自分が世界にただ一人しかいない存在だということ。

それはあなたにも当てはまるということ。





## 大事と大切と必要

大事なことはたくさんある。  
大切なことはいくつもある。  
必要なものはそんなにない・・・

大きな事・大きく切る・必ず要る

大事にしすぎて封を切らないのは  
きっと本当に大切にしているとは言えないんじゃないか？  
必ず要るものなら置いてあるだけじゃなあ・・・

封も切らないままの手紙と  
何度も読み返してしわくちゃになった手紙・・・  
大切にしているのはどっちなんだろう？

たいていの物事は本当は必要のない物事なのかもね。  
でも自分の今があるのは必然の積み重なり。



## 生命

「命より大事なものなんかないだろう」

亡くしてしまった命は二度と戻ってこないのだから  
命を守ることは最優先しなければいけないと常に思う。

生きてさえいればやり直すチャンスは残ってる。

## あう

人と会う

気が合う

めぐり逢う

いがみ合う

笑い合う

語り合う

許し合う

些細なことだけど「あう」ことは大切だと思った。

あなたと会えてよかった・・・



## 覚悟

人は必ず死ぬ・・・

今の技術では不老不死などありえないし  
これから先、どんなに技術が発達したとしても  
不老不死は無理だろう・・・  
たとえそれが選べたとしても  
僕は選ばないだろう・・・

人生のなかでどれだけ早く死を見つめられるか  
死を思うことが早ければ早いほど  
人生を有意義に過ごせるのではないだろうか？

きっといつかは君とも別れることがあるだろう  
だって僕は人間だから・・・  
もう覚悟はできてるつもり・・・  
それでも死ぬまでは生のためにもがくよ

だから今を生きる。



## 許す

あなたを許すことはできない・・・

あなたに許されることもない・・・

だって人間はそんなにえらい存在じゃないような気がするんだ。

だから・・・

あなたを許すなんて判断はできないよ

だって許すなんて権限、僕にはないんだから・・・

だって僕はちっぽけな人間だから・・・

## 別れた者へ

たくさんの出会いに たくさんの別れ

出会い と 別れ を繰り返し これからも行く

今日 あなたは故郷に帰って もう辿り着いた頃だろうけど

もう 会えることも ないだろうけど.....

誰かが言った・・・

「別れた者の その後の幸福を 願うなら

決して その別れを なげいては いけない.....」と

元気を出すことが なにより その者のためになるはず・・・

僕は元気でやって行くよ

君は君で 僕は僕で 夢を叶える その日まで

ありがとう を 別れた者へ





## ため

君のため 君のため と言ってる・・・  
ほんとは自分が可愛くてしかたないんだろう  
何かのため 誰かのため  
そう思っているとため息が出てくるね・・・  
ほんとは誰のためでも 自分のためでもなく  
そうしたいって心が叫ぶからなんだ

そこに人が現れると 為（ため）は 偽（ニセ）になる。

でもどうしても 人が現れてしまうだめな自分・・・

## きづき

「しあわせ」だと気付くことが「しあわせ」だと思う。  
本当に必要なものなんてそんなにないよね。  
「しあわせ」だと思える気持ちがあればいいよね。  
必要だと思う事に気付くこと、生きている事が奇跡だと気付くこと  
「気付く」ことがなければ、そこに存在しないのと変わらない気がする。

自分の状態をいち早く気付き、人の状態にも気付く。

「気付き」は変化を「築き」あげるための第一歩じゃないかな？



## 今できること

今しかできないことってそんなにない  
でも今できることをやらなきゃ夢は夢のまま

## 傷

人は傷付けなくて生きることが出来ないと思う。

傷のない人なんて居ないだろうし

たとえその傷が癒されたとしても完全に消えることはない。

見た目では傷痕は消えるのかも知れないけれど

傷付いたときの記憶やそのときの気持ちは覚えているもの・・・

そしてその傷に触れたとき人はそのときの記憶が蘇り

過剰に守ろうとして、相手を傷付けてしまう・・・

そしていくら傷付けないようにしても

自分の解らないところで知らずに傷付けてしまうこともある。

なんて人は哀しい生き物だろう・・・

なんて人は寂しい生き物なんだろう・・・

なんて人は儂いのだろう・・・

でも、その傷を癒すのも人だったりすると思うんだよ。



## 誕生日

誕生日はありがとうを与える日。

何年も前のある出来事で“はっ”とさせられた。

フィリピン出身の女友達に会った。

その日、偶然にも彼女の誕生日でそれを聞いて

「誕生日おめでとう、じゃあここの食事代奢るよ」と言ったら

「ううん誕生日だからワタシが出すよ」と言い出す。

「なんで？」と聞くと彼女は

「神様が命を与えてくれた日だから、誕生日には

感謝の気持ちを与えるようにしてるの。」と言う。

それがなんとも自然にさらっと言われてショックを受けた。

誕生日って祝って（プレゼント）もらえる日だと思ってた自分に

とても大きな影響と感動を与えてもらえた日だった。

もう何年も前のことだけど、覚えている。

「誕生日ありがとう」



## 自分

自分ってなんだろう？

『自分』・・・自らを分けると書く。

他者との違いを分別することで、確立した自己を発見できる気がする。

自分という存在を意識することで、より自分が見えてきて

他人のことも意識できるような気がする。

自分を大切にできないと大切なものを見失うんじゃないかなあ・・・

## 飢え

優しさに飢えた人は、ささいな優しさでも嬉しい。

ぬくもりに飢えた人は、少し触れただけでドキドキ。

お金に飢えた人は、それ以外のモノを失い、

愛に飢えた人は、与えることを忘れる・・・

飢えには、人を狂わせる「なにか」があるのかも知れないな・・・

忘れてはならないことを忘れてしまいそうなとき

自分がなにに飢えているのか考えてみるといいんじゃないかなあ？

忘れないようにしたいなあ・・・





## 成長

「成長」・・・長く成ると書く。

なにごとに長く成ることで、なにかを掴むことができるのだろう。

身体的なことでも背が伸びれば「成長」という・・・

精神的なことでも物事をよく考えたりして「成長」する・・・

人が生きるということも長く生きればその人なりの「成長」がある・・・

きっと衰えることもあるだろう・・・

でもそれも「成長」だと僕は思うんだよ。

きっと見えないところに「成長」はあるって信じてる。

## 認める

国だろうが会社だろうがインターネットだろうが

ホームページだろうが、それを扱うのは人間である。

ロボットだってこれから自分で判断して動くかもしれないが

それをプログラムして選択肢を決めるのも人間だと思う。

人間というのは完璧ではない。

だから人間なんだと思うけど、だから間違えることもある。

大事なのはそれを認めて、どう受けとめるか。



## 2001. 9. 11 哀しみの日に

人は話すことで、そして伝えることで発達してきた。  
暴力から生まれてくる恐怖を長い年月をかけて伝えてきた。  
人として生まれて、他の生物にはない特別な能力を使って  
テロリズムという暴力行為で同類の命を奪うということ・・・  
なんて哀しいことなんだろう・・・  
なんて寂しいことなんだろう・・・

どっちが正しい、どっちが間違ってるのかなんて  
どちらの側の主観に立つかによって変わるのだろうけど、  
私の価値観・主観からするとなにもかもが哀しい・・・

人間として生まれ、人間として死んでゆく  
私達は人間です。  
たとえ生まれ変わるとしても私は人間として死を受け入れたい。  
人それぞれに与えられた短い時間を生きるため。  
将来や死ぬことに捕われず、今という時間を精一杯、生きるため。

遺族の方の気持ちを考えると涙が出てきた・・・  
亡くなられた方の死を受け入れられますように・・・合掌。  
哀しみの日に・・・

macoto



## 君が好き

ぼくは君の鏡

まるでぼくが思っていることが解っているようだ  
ふとぼくが思っていることを君が言う

まるで君はぼくの鏡

こんな気持ちは初めて

鏡に映る君が好き

目の前にいる君が好き

ぼくは君が好き

## 感謝

あなたにめぐり逢えたしあわせに感謝して・・・  
だれかの代わりではないたったひとりのあなたへ  
ありがとう





macoto's weblog

<http://ameblo.jp/maco-monoomoi/>

Produced by macoto

Design by "英"

© macoto 2002 Printed in Japan

## もの思い

<http://p.booklog.jp/book/41412>

著者 : macoto

著者ブログ『もの思い』 : <http://ameblo.jp/maco-monoomoi/>

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/macoto-monoomoi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41412>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41412>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社paperboy&co.